



G7

観光大臣会合 コミュニケ

フィレンツェ、2024年11月13-15日

我々、G7観光を担当する大臣は、2024年11月13日から11月15日まで、イタリアのフィレンツェで一堂に会し、成長および持続可能で包摂的な開発の原動力としての観光の戦略的役割を強調した。2023年に世界の観光入込客数の43%を迎え入れ、世界の観光地への出国観光客数の41%を占めるG7メンバー国は、主要な観光地として、また送客元としての役割と責任を確認した。

フィレンツェは、そのユニークな遺産と何世紀にもわたって観光客を迎えてきた伝統を持ち、観光エコシステムの現在と将来の課題と機会について議論する理想的な場所であることを証明した。

プーリア G7 首脳コミュニケに従って、我々は、発展の機会を提供し、新たな技術の進歩を活用しながら、共有された持続可能な繁栄を追求することを表明する。

多くの危機と紛争に見舞われる国際情勢の中で、我々は、国家間の架け橋となり、民族と文化の相互理解と尊重を促進する上で、観光が果たす役割が極めて重要であることを再確認する。観光は平和の手段であり、同時に観光の繁栄には平和が必要である

経済的繁栄、雇用、福祉の原動力としての観光の重要性、またその横断的な性質に鑑み、我々は観光を国内外の政策課題の上位に維持する必要性を認識する。

私たちは、民間部門、地域住民、その他のステークホルダーと協力しながら、政府のあらゆるレベルで緊密に連携し、人間中心で、適切に管理され、バランスのとれた観光開発へのパラダイムシフトを支援することを目指す。我々は、すべてのレベルにおいて十分な資源に支えられた、効果的なガバナンスの実践と協調的な政策行動の必要性を強調する。

我々は、G7メンバーが観光の発展のため、相互に関連し強化する以下の分野において主導的な役割を担うことができることを強調する：経済・社会・環境面における持続可能性の推進

を強化すること。技能開発を通じて人的資本の役割を強化すること。及び関連するリスクを管理しながらデジタル化と AI の可能性を活用すること。

この点に関し、議長国イタリア及び G7 観光ワーキンググループの作業により特定された優先事項に基づき、議長国の文書「G7 観光ワーキンググループの主要成果」に要約されている通り、また、OECD との協力により作成された「包摂的かつ持続可能な観光による経済繁栄の創出」及び「人工知能と観光」に基づき、我々は以下の目的を共有する：

持続可能で包摂的な発展のために観光の恩恵を広める

我々は、国連の「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」や、パリ協定、生物多様性枠組などの関連する国際文書に沿った、観光のバランスの取れた発展を促進することを表明する。地域住民、環境、気候、自然文化遺産に対する外部性に対応し対処するためのエビデンスに基づく対策を採用しつつ、観光の直接的・間接的なプラスの効果を最大化することを目指す。

我々は、観光の成功は訪問者数のみで評価されるべきではないことを強調する。むしろ、観光地レベルで観光がもたらすポジティブな影響を考慮し、総合的な視点に基づいて評価されるべきである。観光産業は、観光の恩恵が、十分なサービスを受けていない地域や地方部の住民、中小・零細企業、バリューチェーン全体を含む、全ての人々に広く行き渡るよう、長期的かつ包括的な持続可能モデルに向けて努力すべきである。我々は、観光の多様化、観光地の計画的な参加型開発の支援、季節性への対処が、このアプローチの重要な要素であると認識している。

観光産業が環境に与える影響と依存を認識し、我々は、気候変動目標全体に貢献し、資源消費を削減し、循環型経済モデルを取り入れるために、観光産業のグリーン・トランスフォーメーションを支援する。我々は、地方レベルも含めた環境政策の経済的・社会的影響に対応しつつ、気候変動の緩和と適応の取り組みにおいて、観光産業、特に中小・零細企業のニーズを考慮する。

観光経済のレジリエンス強化のため、観光セクターの危機への備えと、自然災害や人災による影響を最小限に抑え、そこから回復する能力を向上させることを目指す。

同時に我々は、環境に配慮した観光の実践と体験、そして観光客の意識と行動力を促進・向上し、旅行者が持続可能で十分な情報に基づいた選択を行えるようにする機会を認識している。

全ての政治課題において障害者の権利を更に統合するという G7 のコミットメントを想起し、高齢化社会のニーズを考慮し、我々は、アクセシビリティとユニバーサルデザインの原則を受け入れることの必要性と経済的機会を認識する。この目的のため、我々は、より高いアクセシビリティを促進し、全ての人々の観光活動への完全かつ効果的な参加を確保するため、投資、情報、研修等に関する政策や具体的な措置の採用に努める。

ヒューマンファクター（人的要素）の強化

我々は、観光エコシステムにおいて人的資本が最も価値ある資源であり、供給側及び需要側の両方の中核を担っていると認識している。観光の専門家は、対人関係やコミュニケーション能力、文化認識、問題解決能力、柔軟性など、技術的・横断的なスキルを含む多様でユニークな能力を必要とする。

我々は、市場成長の可能性とともにデジタル化や人工知能（AI）から派生する新たな機会や観光モデルの進化を考慮すると、観光労働市場はさらなる発展が期待できると認識している。したがって、労働市場はさらなる革新と起業家精神から恩恵を受けることが見込まれる。

我々は、持続可能な観光マネジメント、デジタル化、新技術に関連するスキルを含めた高度な技能スキルをさらに向上させるため、労働力のより良い育成に取り組む。ニーズの変化や新たな仕事に対応するための若者を含めた観光労働者のスキルアップとリスクリングは最も重要である。

我々は、労働条件を改善し、観光産業の人材を惹きつけ、確保するための障壁に取り組む企業を支援する政策的枠組みを強化することで、労働力不足に対処することを目指す。

我々は、変化に富み、地理的に多様で年間を通じて観光を提供することは、特に、観光業の雇用主や従業員の具体的なニーズがより広範な経済・地域開発戦略によりよく組み込まれるようになれば、季節性や雇用の不安定さを軽減し、観光業における雇用の魅力を向上させることにつながる点を改めて表明する。

我々は、キャリアパスに沿ったスキルアップやリスクリングの機会も含め、変化の激しい観光分野のニーズに合った観光教育とトレーニングを効果的に結びつけるために、関係当局、教育機関、民間セクター間の調整を推奨する。

デジタル化と AI の活用

我々は、観光開発が、人間中心で安全なデジタル・トランスフォーメーションを支える、安全・安心かつ信頼できる AI を含めたデジタル技術の導入を活用できることを認識する。

技術の進歩は、観光とビジネスの機会を広げ、イノベーション及び生産性向上を促す。実際、生成 AI のような技術は、観光客向けにカスタマイズされた新たな提案や体験、事業運営や業務組織の改善、新たな雇用機会の創出への道を拓くことで、観光の外延を再定義しうる。

AI は、複雑なデータの予測分析及び、観光地における観光の流れや輸送と廃棄物管理を含むサービス計画のより良いマネジメントを可能にし、資源利用の効率化を促進することで、観光の持続可能性に貢献することができる。

同時に我々は、フェイクレビューやディープ・フェイク、消費者の行動操作など市場を歪め、競争を不当に変化させる可能性のある AI 技術の悪用のみならず、観光企業のサイバーセキュリティ及び顧客データの透明性の保護、顧客への危害防止のための説明責任を確保する必要性を明らかにする。

我々は、AI を含むデジタル技術に関連する機会とリスクについて、観光事業者と観光地の認識を高め、特に中小・零細企業にとって、AI ソリューションの開発と採用、また強力なサイバーセキュリティ施策の実施にかかるインフラと資源の制約を克服する方策を検討する必要性を認識する。

我々は、AI を含むデジタル技術の恩恵を活用するために、すべての関係者が必要なスキルと能力を身につけるために、教育機関、テクノロジー産業、観光産業間の対話を推奨する。

結び

我々は、招待国（ブラジル、エジプト、インド、サウジアラビア）の閣僚及び代表、世界観光機関（UN Tourism）、並びに G7 観光ワーキンググループのナレッジパートナーである OECD の貴重な貢献と見識に感謝する。

我々は、観光のグローバルな課題を推進するため、関連する国際的な場において更なる連携と協力を行うことを再確認する。